

第257回鳳雛講座 令和7年9月16日(火)

9月16日(火)に今年度4回目の鳳雛講座(全校)を行いました。講師は、秋田大学教育文化学部2年生で本校卒業生でもある工藤朱莉さんが務めてくださいました。特別支援教育に将来は携わりたいという自分の目標や、後輩への具体的なアドバイスを話してくださり、多くの生徒が刺激を受けた様子でした。

○講話の内容

・現在の進路に決めた理由

第一中学校に在学中、特別支援学級の生徒と仲良くなった。その生徒と交流を重ねていくうちに、どうしたらみんなと一緒に勉強できるのだろうか?「みんな」に分かりやすい授業ってどんなだろうか?障害の理解が正しく広まっていくには?といったことを考えるようになり、特別支援教育に携わりたいと考えるようになった。

・生徒への質問回答から一部抜粋

Q. 中学生のうちにやっておくべきことは何ですか?

A. 勉強、部活、行事などをどれも全力で行うこと。そして、友人を大切に。

Q. 将来の夢を叶えるために必要なことはなんですか?

A. 夢を漠然な「夢」のままにしないこと。どうしたら実現できるのか、という行動する段階まで落とし込むこと。

○結びに

今しかできないことを精一杯楽しみ、頑張ってほしい。ときには、結果が思うようにいかないこともあるけれどその過程に学びがあれば「失敗」ではないと思う。自分と仲間を大事にして、今しかないこの日々を大切に過ごしてほしい。

○生徒の感想から

・残りの中学校生活で、これからの進路を見付けるために鳳雛講座や子どもハローワークに参加したい。また、自分は勉強が苦手だから、お話にあったように優先順位を付けて効率的に進めていきたい。

・私は将来医師になりたいと考えている。しかし、勉強が長く続けられないので今日の講話にあったアドバイスを参考にしていきたい。夢に向かって私も頑張るので、工藤さんも自分の夢に向かって頑張ってほしい。

・将来消防士になりたいが、消防士になるためには試験を受ける必要がある。今日の講座で改めて、勉強は基礎になる部分が重要であることが分かった。自分の将来についてこれからも深く考えていきたいと思う。





